

イスラエル経済月報（2021年10月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 友澤 孝規）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標	5
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 政策金利（Interest Rate）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係	10
スタートアップ ^o イスラエルテックの次フェーズはデカコーンの時代になる	
雇用 2020年ランキング：イスラエルで働くのに最適なハイテク企業はこれだ	
気候変動 イスラエルの気候テック起業家が次世代ユニコーンを作る	
対米 カリフォルニアとイスラエルの経済関係はかつてないほど強化	
対UAE・インド ^o インド、UAE、イスラエルが貿易拡大のために協力	
日本-イスラエル 経済関係	23
半導体 ルネサスエレクトロニクスがイスラエルの半導体会社 Celeno Communications を3億1500万ドルで買収	
半導体 丸紅ベンチャーズ、データ処理の高速化システムを開発する NeuroBlade に出資	
イノベーション ソフトバンクがイスラエルの投資会社 OurCrowd の株式2,500万ドルを取得	
イノベーション 富士通、インドとイスラエルに研究拠点 AI人材など獲得	
ベンチャー 富士通とイスラエルのスタートアップ Autofleet が資本業務提携	
小売 2022年に1号店を開店予定 セブン-イレブンのイスラエル進出が決定	
大学 イスラエルのライヒマン大学（旧 IDC ヘルツェリア）が日本の中堅・中小企業向けにエコシステム参画に向けたイニシアティブ開始	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	31
サイバー CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022（2022年1月25～27日、テルアビブ）	
観光 IMTM2022 - 28TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET（2022年2月8～9日、テルアビブ）	
スタートアップ ^o 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT（2022年3月9日、エルサレム/オンライン）	
防衛 ISDEF2021（2022年3月21～23日、テルアビブ）	
日本における関連イベントの予定（目次掲載は主要なもののみ）	34
NEW! 建設・不動産 JIIN イスラエル 建設・不動産技術バーチャルイベント2021（2021年11月24日、オンライン）	
NEW! 投資家 第4回 KBIC グローバルウェビナー（2021年12月8日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 3日 イスラエルの防衛関連企業 Elbit Systems は、同社からスピンオフした医療技術企業 Beyeonics Surgical と Beyeonics Vision が 3600 万ドルを調達したと発表。
- 3日 エジプト国営航空会社 Egyptair は、テルアビブ・カイロ航路の運航を開始。週に 4 本を双方向に運航予定。
- 3日 Abrahamic Business Circle は、Agriculture Investment Forum 2021 を開催。各国の大使等が出席。
- 4日 匂いのデジタル化として分子レベルで匂いの制御を目指すイスラエルスタートアップ Moodify は 800 万ドルを調達。Toyota Ventures も投資。
- 4日 イスラエルの車用無線充電企業 ElectReon は、バス会社 Dan Bus と電動バス 200 車向けに Charging as a Service (CaaS)としてサービス提供を行う契約を締結。
- 5日 車両データプラットフォーム・取引市場を提供するイスラエル企業 Otonomo は、同じくモビリティ分野のイスラエル企業 Neura を 5000 万ドルで買収。
- 5日 イスラエルのシリアルアントレプレナー Gigi Levy-Weiss が共同創業者の NFX は、シード期のスタートアップに投資する 4 億 5000 万ドルのファンドを組成。
- 5日 セキュアな情報共有を可能とする技術を開発するイスラエルのスタートアップ Duality Technologies は、3000 万ドルを調達。同社は DARPA とも最近契約。
- 6日 食糧危機解決に向けて、蜂の受粉を助けるイスラエルの農業テックスタートアップ BeeHero は、1500 万ドルを調達。シリコンバレーオフィスの人員を増強予定。
- 6日 マイクロソフトは、今後 4 年間でイスラエルの研究開発人員を 2000 人から 4500 人に増強。同時に、ベルシェバやエルサレム、テルアビブ等に 5 つの拠点を新設。
- 6日 processing-in-memory (PIM)の新しいアーキテクチャを開発するイスラエルのスタートアップ NeuroBlade は、8300 万ドルを調達。丸紅ベンチャーズも投資に参加。
- 7日 テルアビブ証券取引所に上場している Shikun & Binui Holdings は、イスラエルで最大のフロート式（水上）太陽光発電 23MW を運転開始。
- 7日 Email・Webchat 等の潜在顧客情報を自然言語処理で解析するプラットフォームを提供する Exceed.ai を、米国企業 Genesys が約 3000 万ドルで買収。
- 7日 ソフトバンクが投資する米国モビリティ系企業 Reef Technology は E コマース産業向け物流プラットフォームを開発するイスラエルのスタートアップ Bond を買収。
- 7日 イスラエル中央銀行は、金融委員会において政策金利は据え置いたが、12 月早期までに量的緩和を終え、2022 年中には政策金利を引き上げる見込みについて発言。
- 7日 NY 証券取引所に上場したフリーランス・オンラインプラットフォームを提供するイスラエル企業 Fiverr は、米国のオンライン学習企業 CreativeLive を買収。
- 10日 イスラエルの IoT セキュリティ企業 Armis は、35 億ドルの評価額で 3 億ドルを調達中。8 ヶ月前は 20 億ドルの評価。米国で上場する前の最終ラウンドとなる見込み。
- 10日 イスラエルのタクシー配車サービス企業 Gett は、米国において SPAC 上場間近。1 億 5000 万ドルから 2 億ドルの評価額となる見込み。

- 10日 空気清浄システムを提供するイスラエルのスタートアップ Aura Air は、コロナウイルスを閉鎖空間において除去する旨の認可をイスラエル保健省より取得。
- 10日 銀行・金融機関が顧客毎にカスタマイズされた投資商品を即座に組成するイスラエルの Fintech スタートアップ Futora は、600 万ドルを調達。
- 10日 イスラエルと UAE の間の旅行・ビジネス往来について、ビザ取得の必要が無くなった。留学や仕事等のためには、引き続きビザ取得が必要。
- 11日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Wiz は、2020 年設立ながら、60 億ドルの評価額で 2 億 5000 万ドルを調達。
- 11日 マイクロソフト・イスラエルの COO として Dana Alexandrovich 氏が就任。イノベーション推進等と共にイスラエルに今後開設されるデータセンター事業等を主導。
- 11日 大きな社会課題解決を目指すスタートアップのためのイスラエルのアクセラレーター-8200 Impact は、7 回目となる 5 カ月間のプログラムを開始。12 社が参加。
- 12日 人材マネジメントプラットフォーム bob を提供するイスラエルのスタートアップ Hibob は、16.5 億ドルの評価で 1 億 5000 万ドルを調達中。新たなユニコーンに。
- 12日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Cybereason は、Google Cloud と連携して、クラウドネイティブの XDR (Extended Detection and Response) を提供。
- 12日 アメリカのコネクティッド・スポーツ企業 Slinger は、イスラエルのスポーツテックスタートアップ PlaySight を株式交換で 8200 万ドルで買収。
- 12日 イスラエルで二番目の大きいイヒロフ病院とイスラエル VC の Sanara Ventures は連携して、神経学・デジタルヘルス分野における新技術・プロジェクトを育成。
- 12日 IMF は 2021 年のイスラエルの成長率見込みを 5.5%から 7.1%に引き上げ。他方、世界の成長率見込みは、6%から 5.9%に引き下げた。
- 13日 イスラエルの VC である SOMV (State of Mind Ventures)は、2 つの新しいファンドを設立。それぞれアーリー向けとアーリーグロース向けで、合計 2 億ドル。
- 14日 イスラエルのハイテク投資企業 Vintage Investment Partners は、新しく 5 億ドルの Fund of Funds と、追加的な 3 億 1200 万ドルの 2 号ファンドを設立。
- 14日 アプリ開発者のマネタイズや分析等を支援するプラットフォームを提供する ironSource は、米国のモバイル広告・マネタイズ企業 Tapjoy を 4 億ドルで買収。
- 14日 WEB 購入を AI で支援するブラウザ拡張機能・アプリを開発しているイスラエルスタートアップ Karma は、2500 万ドルを調達。
- 17日 医療機器大手 Medtronic は、イスラエルのスタートアップ Triple Jump を 3 億ドルで買収する交渉を進展中。
- 18日 イスラエルのデータフローインフラ・スタートアップ Metrolink は、シードラウンドで 2200 万ドルを調達。創立者は、IDF の Unit81 や Unit8200 出身。
- 18日 世界的な給与支払等のシステムを開発するイスラエルのスタートアップ Deel は、55 億ドルの評価額で 4 億 2500 万ドルを調達。6 ヶ月で 4 倍の評価額に。
- 18日 プライマリーケアで AI が医者を支援する治療プラットフォームを開発するイスラエルスタートアップの Navina は、1500 万ドルを調達。
- 19日 イスラエルのエアタクシー・スタートアップ AIR は、開発している電動飛行機を初公開。160km の範囲を時速 250km で飛ぶ。同社は現在まで 1000 万ドルを調達。

- 19日 AIを活用して従業員の健康増進を促すプラットフォームを提供するイスラエルのスタートアップ Insurights は、シードラウンドで 2200 万ドルを調達。
- 19日 イスラエルの著名なサイバーセキュリティ起業家 Shlomo Kramar が 2015 年に創立した Cato Networks は、25 億ドルの評価額で 2 億ドルを調達。
- 19日 ソフトウェアの品質管理を行うクラウドベースのプラットフォームを開発するイスラエルのスタートアップ SeaLights は、3000 万ドルを調達。
- 20日 従業員のコミュニケーションやトレーニングのためのプラットフォームを開発するイスラエルのスタートアップ Bites は、シードラウンドで 500 万ドル調達。
- 21日 イスラエルのライフサイエンス向け VC 企業 aMoon は、新しいファンドを組成中。規模は明らかにしていないが、7 億 5000 万ドル規模とみられている。
- 24日 米国の通信会社 AT&T は、Airport City にある R&D センターの従業員 500 人に加え、新たにテルアビブに拠点を構え、100 人を追加で雇用する予定。
- 25日 スタートアップ育成等を行う Google の Startup Growth Lab は、第 5 回目のプログラムに参加するイスラエルのスタートアップ 10 社を選出。
- 25日 イスラエルの広告技術・サービス会社 Natural Intelligence は、初めての資金調達ラウンドで少なくとも 1 億ドルの調達を狙う。同社は現在まで売上のみで運営。
- 26日 機械を診断するプラットフォームを提供するイスラエルのスタートアップ Augury は、シリーズ E ラウンドで 10 億ドル以上の評価額で 1 億 8000 万ドルを調達。
- 26日 バックアップ・リカバリーソフトウェアを提供するイスラエルのスタートアップ BackBox は、シリーズ A ラウンドで 3200 万ドルを調達。
- 26日 受注配送業務向けのロボットソリューションを提供するイスラエルのスタートアップ Fabric は、10 億ドル以上の評価額で、2 億ドルを調達。
- 27日 イスラエルのバイオ技術スタートアップ Immunai は、10 億ドル越えの評価額で、2 億 1500 万ドル調達。免疫システムをマッピングするプラットフォームを開発。
- 27日 自動車にセンサーを搭載しデータの蓄積・加工を行うイスラエルのスタートアップ Tactile Mobility は 2700 万ドルを調達。ポルシェやグッドイヤーも投資。
- 28日 車両運行を最適化し、オンデマンド・モビリティへの適応を可能とするプラットフォームを開発するイスラエルのスタートアップ AutoFleet は 2000 万ドルを調達。
- 28日 イスラエルで Wi-Fi solution の提供をリードする Celeno Communications を日本企業ルネサステクノロジーが 3 億 1500 万ドルで買収中。年末までに完了予定。
- 29日 イランのハッカー集団 Black Shadow hacker group は、イスラエルの LGBTQ データアプリ Atraf からデータを奪ったと声明。バス会社 Kavim からも同様に。
- 31日 米国ファンドで 780 億ドルを運用する General Atlantic は、イスラエルオフィスを開設予定であり、アーリーステージのスタートアップ投資のため 6 人を雇用予定。
- 31日 神経不全の患者に遠隔でモニタリング・治療等を提供するイスラエルのスタートアップ NeuraLight は、550 万ドルを調達。
- 31日 CPG (Consumer Packaged Goods) 企業向けに D2C (Direct to Customer) プラットフォームを提供するイスラエルスタートアップ Nokku は 300 万ドルを調達。
- 31日 イスラエルのスタートアップは 10 月に 30 億ドルを調達。2021 年 1-10 月で 208 億ドルの調達となり、2020 年調達額である約 100 億ドルの既に 2 倍以上。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 2021年第2四半期の成長率は年率16.6%（三次推計）

中央統計局は、2021年第2四半期の経済成長率が16.6%だったと発表した（2021年第1四半期の年率マイナス1.4%より反動増）。

大幅なプラス成長には、コロナに関わる多くの規制が撤廃され、通常の経済活動に復帰したことが影響した。

出典：イスラエル中央統計局

[National Accounts: Third Estimation for the Second Quarter of 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/national-accounts-third-estimation-for-the-second-quarter-of-2021)

2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

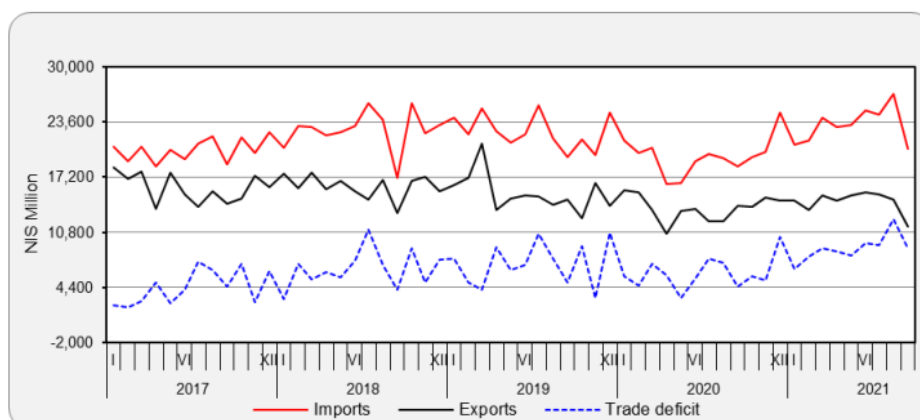
● 2021年9月の貿易赤字は90億NIS

中央統計局の発表によれば、2021年9月の物品輸入は205億NIS、物品輸出は115億NISであり、貿易赤字は90億NISであった。

物品輸入の46%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、26%が消費財、12%が機械装置・陸上輸送機、16%がダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸入は直近3カ月で年率11.3%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の89%を占め、10%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品（船舶、航空機、ダイヤ除く）の輸出は直近3カ月で年率5.0%増加。工業製品輸出（ダイヤ除く）のうち40%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率7.5%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局

[Israel's Foreign Trade, Exports & Imports of Goods: September 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/israel-foreign-trade-exports-imports-of-goods-september-2021)

3. 失業率（UNEMPLOYMENT RATE）

- 9月の失業率は5.3%で、前月5.5%より改善。

中央統計局は、2021年9月の失業率は5.3%であり、前月比0.2%ポイント減と発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	8月	9月
失業者（率）	234,700人 (5.5%)	224,800人 (5.3%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	268,900人 (6.3%)	257,400人 (6.1%)
2020年3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	346,700人 (8.0%)	338,500人 (7.9%)

出典：イスラエル中央統計局

[Labour Force Survey Data, September 2021 \(cbs.gov.il\)](https://www.cbs.gov.il/eng/press/2021/2021090101.html)

4. 消費者物価指数（CPI）

- 9月のCPIは前月比0.2%ポイント増

中央統計局の発表によれば、2021年9月のCPIは前月比0.2%ポイント増（2020年平均を100.0した時、2021年8月の102.2が、2021年9月に102.4と増加）。

うち価格上昇が著しかったのは、野菜（9.5%ポイント増）。一方、価格下落が著しかったのは、文化・娯楽（2.6%ポイント減）、被服（2.1%ポイント減）。

年初からのCPI（住宅を除く）は2.5%ポイント増加しており、過去12か月間でも2.5%ポイント増加。イスラエル中央銀行が年間の目標範囲としている1%～3%内。

中央統計局は、7-8月期の住宅価格指数も公表。6-7月期に比べて1.2%上昇した。前年同期比では9.2%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局

[Consumer Price Index, September 2021 \(cbs.gov.il\)](https://www.cbs.gov.il/eng/press/2021/2021090102.html)

[Price Changes in the Dwellings Market: September 2021 \(cbs.gov.il\)](https://www.cbs.gov.il/eng/press/2021/2021090103.html)

5. 政策金利 (INTEREST RATE)

● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

10月7日、イスラエル中央銀行の金融委員会（日本でいう金融政策決定会合）は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

イスラエルにおける新型コロナウイルスの第4波は収まりつつある。この第4波に対する経済の対応には、活動に対する深刻な制限は含まれていない。しかし、更なる罹患者の波が周期的に発生するリスクを主に考慮すると、中期的な経済活動にはまだ大きな不確実性が残っている。

入手可能な経済活動の指標によると、第4波の罹患者のピーク時においても、活動や需要の著しい低下は見られなかった。

調査部は、スタッフによる経済予測を上方修正。2021年のGDP成長率は7%、2022年は5.5%になるとした。

9月前半の労働力調査によると、失業率は安定している。求人数は年初来の傾向をさらに強めて増加を続けており、人手不足が引き続き活動の拡大を圧迫している。

インフレ率の上昇傾向は続いている。過去12ヶ月間のインフレ率は2.2%。あらゆる情報源による1年間のインフレ期待値は上昇し、目標範囲内にある。様々な予測によると、インフレのペースは後に緩やかになると予想されている。

前回の利上げ決定以降、シェケルは対ドルで0.5%安くなった。また、ユーロに対しては1.1%、名目実効為替レートでは0.3%のシェケル高となった。

住宅価格は過去12ヶ月間で約8%上昇し、例年よりも急速なペースで上昇した。他方、賃貸価格の上昇ペースは比較的緩やかなままだった。建築物の完成は長期にわたり顕著に減少している。

世界経済は、罹患者の低下やワクチン接種率の上昇などにより、回復傾向が続いている。しかし、世界的なサプライチェーンの混乱や、既存のインフレリスクを高めるエネルギー価格の上昇により、その勢いは弱まっているようだ。一部の中央銀行は、金融緩和を徐々に縮小し始めている。

イスラエル経済の危機からの回復過程は続いている。しかし、経済活動にはまだ課題が残っている。このため、委員会は長期にわたり緩和的な金融政策を継続する。経済活動の継続と健全な成長により、今後数ヶ月のうちに様々な量的緩和プログラムを終了することが可能になる。これはすべて、政策目標の達成と経済の危機からの回復を引き続き支援し、金融市場の秩序ある機能を確保するためである。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は11月22日。

出典：イスラエル中央銀行

[Bank of Israel - Press Releases - The Monetary Committee decides on October 7, 2021 to keep the interest rate unchanged at 0.1 percent \(boi.org.il\)](https://www.boi.org.il/en/press-releases/2021/10/07/monetary-committee-decides-to-keep-the-interest-rate-unchanged-at-0.1-percent)

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

- 10月の為替相場は、主要貿易相手国の通貨に対して、過去最高に。

イスラエル銀行が発表した名目実効レートによると、イスラエルの主要貿易相手国の通貨バスケットに対するシェケルの価値は過去最高の水準となった。

イスラエル銀行が10月28日に設定した代表的なシェケル・ユーロレートは1ユーロ=3.695シェケルで、2001年以來のシェケル高ユーロ安。

また、シェケル・ドルの代表的なレートは、10月28日に昨日より0.188%低い3.185NIS/ドルに設定され、シェケルの対ドルレートとしては10ヶ月以上ぶりの高水準となった。

イスラエルの消費者は、海外の電子商取引サイトで魅力的な価格を見つけることができるが、世界的なサプライチェーンの問題により、ドルの価格が高くなる可能性がある。

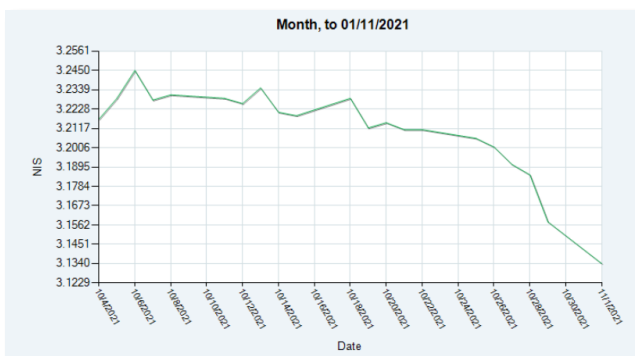
Prico Risk Management and Investments社のCEOであるYossi Fraiman氏は、「小さなマージンで仕事をしている輸出業者にとって、これは良いニュースではない。シェケル高の理由としては、金融機関が通貨のエクスポージャーを減らす動きが活発で、外貨の供給が余っていることが挙げられる。また、海外市場で公募を行ったイスラエル企業や、債券市場で活動する外国人投資家も、大量の外貨を供給している。これら2つの重要な要因に加えて、輸出のための通貨を受け取っている輸出業者は、今後の給与支払いのためにシェケルを必要としている。」

出典：報道・グローブス紙

[Shekel at all-time peak - Globes](#)

グラフ出典：中央銀行・10月のドルシェケル相場推移

[Bank of Israel - Exchange Rates - Chart \(boi.org.il\)](#)



7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

- 9月末時点の外貨準備高は2,040億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、9月末時点の外貨準備高は、前月比19.2億ドル減となる2,040億ドルであった。GDPの46%を占める。

減少の要因は、為替等の再評価による32.1億ドル減。他方、その減少額の一部は、中央銀行による外貨購入(10.01億ドル)、民間移転(1.38億ドル)、政府移転(1.50億ドル)によって相殺された。

出典：イスラエル中央銀行

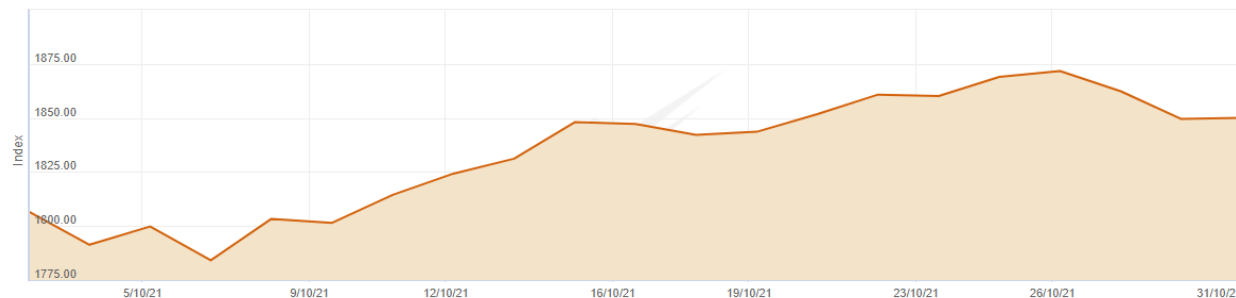
[Bank of Israel - Press Releases - Foreign Exchange Reserves at the Bank of Israel, September 2021 \(boi.org.il\)](#)

8. 主要株価推移（TA35）

● 月間推移

Trading Chart - TA-35

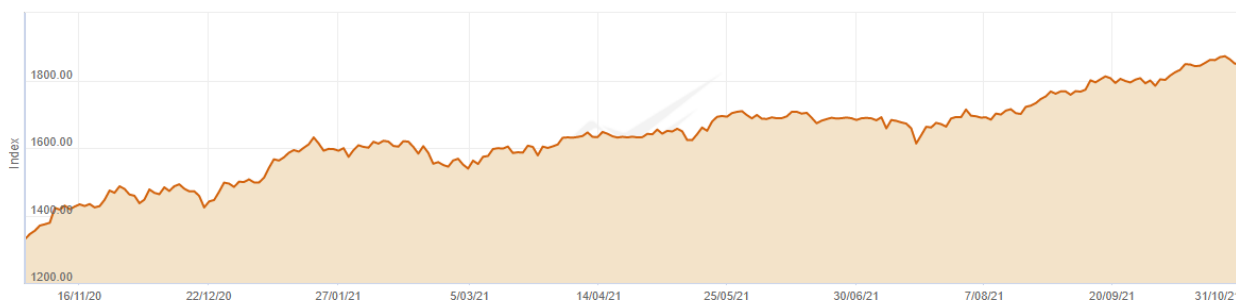
03/10/2021 - 31/10/2021



● 年間推移

Trading Chart - TA-35

01/11/2020 - 31/10/2021



● 9月のテルアビブ証券取引所（TASE）関連ニュース

- 11日、TASE初のESGカンファレンスを開催。
- 12日、テクノロジー企業 Airobotics 社が IPO を行い、取引開始。
- 19日、テクノロジー企業 impacX.io 社が IPO を行い、取引開始。
- 20日、Psagot Mutual funds が取引開始。
- 21日、Tondo Smart 社が IPO を行い、取引開始。
- 24日、不動産企業 Hagag Europe 社が IPO を行い、取引開始。
- 27日、外貨建てのイスラエル国債が取引開始。

出典：テルアビブ証券取引所

<https://www.tase.co.il/en>

イスラエル経済関係記事

スタートアップ° イスラエルテックの次フェーズはデカコーンの時代になる

年末まで3ヶ月を切った今日の時点で、2021年はイスラエルのハイテクエコシステムにとって記録的な年になることがすでに証明されている。今年の第1四半期から第3四半期までのイスラエルのハイテク企業への投資額は177億8,000万ドルに達し、2020年全体での調達額と比較して71%の増加となった。

当然のことながら、1年が終わろうとしている今、すでに次の年についての議論が生じている。2022年以降も同じような状況が続くのか？同じ企業が繁栄し続けるのか？それとも新参加者が主導権を握るのか。また、イスラエルの経済は、“スタートアップ国家”から“スケールアップ国家”へと、本質的な変化を遂げるのか？

これらの疑問に答えるため、私たちは6人の投資家に水晶玉を覗き込んでもらい、彼らが何を見ているのか、どのような大きなトレンドが実現すると考えているのか、そしてどこで次の大きなものを探しているのかを教えてもらった。

Insight Partners バイス・プレジデント Daniel Aronovitz 氏

Daniel Aronovitz氏は、“質の高いエンジニアの需要が増え続ける中、デベロッパーツールの重要性が増している”と指摘している。Aronovitz氏は、エンジニアが不足していることを指摘し、近い将来、大きな役割を果たすであろうデベロッパーツール市場に注目している理由を説明している。“企業が新たなエンジニアの席を埋めることがより困難になるにつれ、チームは開発者ツールに大きく依存することで、既存のエンジニアの生産性と汎用性を高めざるを得なくなるでしょう。”

また、“機械学習運用（ML Ops）も注目しています”と続けた。“自動データ発見プラットフォームのExploriumのようなポートフォリオ企業が先導することで、広大なツールチェーンが形成され、それが将来のアウトサイジングの波を牽引し、ひいてはナローAIの導入を加速させています。”

今後数年間で、主要な成長段階の企業はどのような分野から生まれるでしょうか？

“建設業界は2番目にデジタル化されていない業界であるため、建設テクノロジーの大きな成長が期待されます。デジタルツールは、非効率的に行うとコストがかかる時間見積もり、プロジェクト調整、資材管理などに関する知識のギャップを有意義に埋めることができます。Covid-19の追い風により、短期的には効果的なキャッチアップ収入が得られ、オーナーやゼネラルコントラクターは、効率を最適化し、プロジェクトのタイムラインを最短にすることで利益を最大化する必要性が高まっていますが、これらはすべてソフトウェアで実現できます。また、製造オートメーションの成長も期待できます。産業用IoTセンサーデータの急速な普及により、自動化を推進するためのデジタル化、アナリティクス、AI/MLツールに対する需要が高まります。”

市場内のいくつかの分野がどのように認識されているかという質問に対して、Aronovitz氏は“ソーシャル・クリプトは現時点では過小評価されている”と主張し、“暗号通貨の利用とインフラの広がりにより、個人が投資家や所有者になるための障壁が低くなる”とも述べ

ています。金融システムのデジタル化は、規制機関が管理基準を定め、NFT などのデジタル資産に新たなユースケースが登場し、制度的な準備が整うことで実現しています”。

Aronovitz 氏曰く、“今後も同じ規模と速度で IPO が行われると考えています。多くの企業が、現金ではなく普通株式を発行して買収の手段とすることを希望しています。非公開株による買収も可能ですが、公開することで、買収案件のダイナミクスに対する柔軟性が格段に高まります”。

イスラエルはスタートアップの国からスケールアップの国へと変わるのでしょうか？それとも、その両方になるのでしょうか？

“イスラエルは長い間、スタートアップの国でしたが、現在はスケールアップの国として台頭してきています。25 年以上にわたってソフトウェアのスケールアップをサポートすることに注力してきた企業として、イスラエルのエコシステムにおけるこの進化の一端を担うことができたことを、私たちはとても誇りに思っています。イスラエルのスタートアップは、起業したその日から世界を視野に入れたビジネスを展開しているため、他のハブ国よりもはるかに早い段階で企業としてのスケールアップを果たしています。このように少ない人口でスケールアップ国家への移行が迅速に行われているのは、個人やチームの粘り強さと忍耐力の賜物です。次世代のイノベーターたちは、“何でもできる ”というマインドセットを持ち、定量的な価値と幅広さを持つ永続的な企業を築いています”。

Glilot Capital Partners 創業者マネージング・パートナー Arik Kleinstein 氏

グリロット・キャピタル・パートナーズの創業者マネージング・パートナーであるアrik・クラインシュタインは、“現在、大企業への成長を志し、その方法を知っている数十人の新世代の創業者がおり、それはテクノロジーのあらゆる分野に当てはまる”と述べている。さらに、“イスラエルのテクノロジー企業が成熟すれば、少なくとも昨年のようなペースで株式公開を選択する企業が増えていくでしょう”と述べている。

次のビッグエグジットに向けて、どの分野に注目すべきでしょうか？

“サイバーセキュリティ、AI を活用したアプリケーション、ビッグデータ・インフラ、テクノロジーを活用したフィンテックという、ここ数年でビッグエグジットを生んだ分野で引き続き見られるでしょうが、培養肉、デジタルヘルス、農業テックなど、現在は大きな投資を集めていない分野でもサクセスストーリーが見られると思います。” また、クラインシュタインは、環境のサステナビリティやヘルスケアなどの「長期的に影響を与える分野」は過小評価されていると述べている。

Kleinstein 氏は、“プレシード企業やシード企業の潜在的な資金源が不足しているとは思いません。多くの熱心なアーリーステージのファンドがあり、また、多くの成功した起業家が投資家になったことで、近年成長したエンジェル投資家のコミュニティもあります。”

“我々の専門分野であるビジネスに特化したソフトウェア、特にサイバーセキュリティと AI の応用に大規模な投資を続けていきます。”と述べ、シードとプレシードの議論を締めくくりました。

イスラエルのエコシステムの動向と変革を考慮すると、Kleinstein 氏曰く、“深い技術的専門知識に基づくイスラエルのイノベーションの伝統的な源泉は引き続き繁栄しますが、それに加えて、市場をリードする企業を成長させてきた過去 10 年間にイスラエルで生み出された蓄積された知識が、スケールアップ国家をリードすることになると考えています。”

TLV Partners マネージングパートナー Rona Segev 氏

Rona Segev 氏は、「私は特定のセクターに注目するのではなく、イスラエルに存在する成熟した企業の長いリストに注目します」と主張している。「次の重要な流動性イベントは、これらの企業から生まれるでしょう。イスラエルのエコシステムの素晴らしさは、一面的ではなく、二面的でもないことです。シリコンバレーやニューヨーク、ロンドンなどと同じように多様性があります」。

Segev 氏は、大企業の存在感が増していることにも触れながら、「イスラエルでは、四半期ごとに大量の若い企業が誕生しており、今後も高速でイノベーションを生み出していくでしょう」と指摘している。「ここ数年、大企業の台頭をより顕著に目撃してきたことは間違いありません。これは魅力的で、エコシステム全体を新たなレベルに引き上げるのに役立ちます。」

シードやプレシードの企業に向けられる資金が少なくなっ、成長段階の企業の方に振り分けられていることを懸念すべきでしょうか？

「いいえ、結局のところ、初日から最高の企業と仕事ができるアーリーステージの投資家には、信じられないほどの価値が待っています。どちらかという、アーリーステージの企業に向けられる資金が増えていくでしょう。」

次のアーリーステージの投資先を聞かれた Segev 氏は、「クラウド・インフラ、フィンテック、データスタックなどの注力分野はありますが、予言者であることを主張しないことを誇りに思っています。どの分野が面白いかは、創業者が一番よく知っています。私たちは、創業者と一緒に仕事をするのに適したパートナーであることを確認することに全力を注いでいます。」と説明している。

今後数年間で、主要な成長段階の企業はどのような分野から生まれるのでしょうか？

「一概には言えません。しかし、最近、フィンテックやデータスタックの分野で、特に非常に質の高いファウンダーからの取引量が大幅に増加していることは間違いありません。通常は、創業者の質がその先行指標となります。」

昨年、大型の IPO や SPAC による合併に成功したイスラエル企業の波について、Segev 氏は混沌とした未来を語っている。「私たちは、上場企業の中で SPAC が占める割合は、時間とともに小さくなっていくと考えています。最近、過去 1 年間の数字を見ましたが、もしかしたら時間の経過とともに変化するかもしれませんが、古典的な IPO 企業とその株式は、一般的に SPAC よりもはるかに優れたパフォーマンスを示していることは非常に明らかです」と述べている。

「今後 2 年から 3 年以上は、より成熟した企業の株式公開が続くと考えている。現時点では、素晴らしい数字を示し、公開の準備ができていると思われる企業が 10 社以上あるでしょう。」

Vertex Ventures ジェネラルパートナー Yanai Oron 氏

Yanai Oron 氏は、「イスラエルに拠点を置く 10 億ドルから 100 億ドル規模の企業が数多く存在していることは、イスラエルのスタートアップが独立して成長する余地があることを示しています」と主張している。「同時に、独立するのに適さないスタートアップや、戦略的な買い手や買収のために評価されるスタートアップにも健全な市場があります。」

次の大きな出口はどこだかという質問に対して、オロンは「つまらないことを言っているように聞こえるかもしれませんが、エンタープライズソフトウェアは多くのイスラ

エル企業が驚異的な成長を遂げている分野であり、かなりの数の IPO 成功が期待できま
す”と語った。

投資家から不当に過小評価されている、あるいは見落とされていると思われる分野や領域はありますか？

“ヒューマンリソースのソフトウェアやソリューションは見過ごされてきました。これは
少しずつ変わってきていますが、まだほとんどの投資家が敬遠している分野です。人材の
確保と維持は、スタートアップや企業が直面している最重要課題であり、この分野は新しい
ソリューションの機が熟していると信じています。私たちはここ数カ月間に、この分
野で 2 つの投資を行いました。Joonko 社は、企業が質の高い、人材不足の人材を採用す
ることを支援し、Growthspace 社は、人材の成長と育成を個別に支援します。”

一方、Oron 氏は、“サイバー分野は、今後数年間にいくつかの統合が予想されるため、
過剰な投資となる可能性があります。我々は、あらゆるものがデジタル化されて問題が大
きくなっているこの分野が好きで、投資をしていますが、慎重に行っています”と述べてい
る。今後数年間の成長段階にある企業の成り立ちについて、Oron 氏は中小企業に販売す
る組織に狙いを定めている。“これらの企業に効果的に販売できるようになったことで、十
分なサービスが提供されていない巨大な市場が生まれました。電子商取引と金融ソリュー
ションは、ポートフォリオの中の Yotpo と DataRails が該当しますが、成功を収めている
2 つの重要な分野です。”

“また、従来の手作業によるサービスを、完全なデジタルソリューション、または人とアル
ゴリズムのハイブリッドソリューションに置き換える新興企業も、大きな成長が期待で
きる分野です。そのような企業のひとつが、トランスクリプションサービスを提供する
Verbit です。他にも、法律や会計などのサービスも破壊の対象となるでしょう”と述べて
いる。

2021 年に上場した企業の数が多いことを考えると、「質の高い収益指標を持つ非公開
企業がかなり多いので、今後も IPO が増えていくだろう」とオロンは考えていますが、
SPAC の合併件数は鈍化すると考えています。また、「VC スペースが儲かる限り、新規参
入者やスタートアップ企業への投資の新しいモデルが出てくるでしょう。特に、リスクが
低い（と思われる）レイトステージでは、例えば、収益源の取引のような革新的な資金調
達などが行われるでしょう」と結論付けています。

Viola Ventures ジェネラルパートナー Omry Ben David 氏

Omry Ben David 氏は、“イスラエルの起業家の野心は高まっており、買収されるので
はなく、自社の運命をコントロールするために株式公開する企業が増えると予想されま
す”と述べている。“公開することで、独立性を保つための滑走路を広げ、流動性を提供し、ブ
ランド力を高め、さらに買収のための通貨を獲得することで、さらなる成長を促すことが
できます。”

“現在、過去 1 年間にスケールアップして上場した企業の第一波が終わりを迎えていま
す。今後 1 年間はペースが落ちるかもしれませんが、上場に向けて準備を進めている企業
のパイプラインは構築されつつあると考えています。年に 5 社から 10 社というのが新し
い常識になるでしょう。”

この 1 年で SPAC が一般的になったように、投資にも新しい傾向が見られるでしょうか？

“企業が規模を拡大し、運営面で洗練されてくると、成長のための燃料と、創業者や従業員
、株主のための流動性の両方を提供しようとするため、財務面でも洗練されてきます。
したがって、流動性戦略としてのセカンダリー取引の増加、デットファイナンスの増加、

その他のオルタナティブ・ファイナンスやストラクチャード・ファイナンスの増加が予想されます”と述べている。

Ben David 氏は、新型コロナウイルスの市場への影響について、“コロナはデジタルトランスフォーメーションと everything-remote のトレンドを大幅に加速させたので、コラボレーションツール、生産性アプリ、フィンテック、e コマースなどの分野での買収が予想されます”と主張した。また、世界的な半導体不足により、ディープテック領域での M&A も考えられると指摘。“また、競争の激しい分野では一般的に見られる統合の特性から、サイバー分野では引き続き M&A が発生すると予想しています。”と付け加えた。

今後数年間、シードおよびプレシード投資の中心となるのはどの分野でしょうか？

“デジタルトランスフォーメーション、リモートエブリシング、AI は、これまで革新が遅れていた業界に地殻変動を起こしています。トランスクリプション、ヘルスケア、農業、エネルギー管理、デジタルヘルス、ディープテック、ゲーム、クラウドセキュリティ、フューチャー・オブ・ワーク、組み込み型フィンテックなどのドメインにまたがる垂直的な AI アプリケーションに、より多くのアーリーステージの資金が投入されると予想しています。”

“コラボレーションツール、カスタマーエンゲージメント、デジタルヘルス、DevOps、パーティカル AI ソリューションなどの分野で、さらなる成長とメガラウンドが期待されています。”

過大評価されていると考えられる具体的なセクターについて議論する際、Ben David 氏は、いくつかのカテゴリーでは、限られた中身で評価額がすぐに構築されることを指摘した。“持続可能なビジネスを構築する方法は、重要なカテゴリーで大きな問題を解決し、スケールするビジネスモデルを持つことです。本質的な価値こそが、サイクルを超えた価値創造の原動力となります”と説明した。

イスラエルの新興企業の数が増えていることについて、Ben David 氏は、悪いことばかりではないと主張している。“楽な仕事を辞めるためのコストが過去よりも高くなっており、さらに革新への挑戦が増えていることを考えると、健全な質への逃避が起きていると言えます。私たちの投資戦略は、重要な市場を破壊する優れた起業家に投資し、その規模が拡大するにつれて真の本質的価値を築くことです。大きな問題を解決し、ビジネスモデルを持っていれば、それを止めることはほとんどできません。”

“私たちは、イスラエルがユニコーン大国としての地位を確立し、その次の段階はデカコーンの時代になると強く信じています。ironSource、Pagaya、Wix、Monday などの例をすでに見ています。そのバランスをとるためには、エコシステムがシードステージのスタートアップを継続的にサポートし、好循環を持続させる必要があります。それが次世代のイノベーションであり、我々ヴィオラベンチャーズが注力しているところでもあります。”

Bank Hapoalim Poalim Hi-Tech 部門責任者 Batsheva Moshe 氏

“将来的には、成功した成長企業やユニコーン企業の数が増え、年間数千万から数億円の収益を上げるようになるでしょう。これは驚くべきことであり、イスラエルの経済に大きな影響を与えるでしょう”と Batsheva Moshe 氏は述べている。しかし Moshe 氏は、“ここ数年、毎年設立される新しいスタートアップの数が減っています”と指摘する。“しかし、私は量よりも質が重要だと考えています。それゆえ、初期段階のスタートアップ企業が資本を調達する割合は過去よりも高くなり、新しい企業の生存率が高くなることが期待できます。”

"もちろん、政府は投資家が初期段階で投資することを奨励し続けることができますし、そうすべきであり、その方法はたくさんあります。Innovation Authority は、常に新しいプログラムを考えていますね。それについていくことは必須です。この問題がイスラエルの将来を左右すると言っても過言ではありません。"

今後数年間、シードおよびプレシード投資で優位に立つと予想される分野は何ですか？

"ディープテック、クラウド、フィンテック、サイバー、AI、インターネット企業全般、そしてもちろんゲームです。"

将来の出口として注目すべきものとして、Moshe 氏は"デジタルヘルス、ただし、現在とは異なるビジネスモデルになるかもしれない"とうなずき、また、上昇中のセクターとしてクリーンテックを挙げ、"そうでなければ、私たちの子供たちは私たちが残していく世界を生き残れないだろう"と述べた。"また、フィンテック、ブロックチェーン、自動車関連技術もウォッチリストに入っています。"

投資家から不当に過小評価されている、あるいは見過ごされていると思われるセクターや分野はありますか？

"コンシューマーです。消費者向けの企業 (B2C) がユニコーンの地位に到達するケースが増えてくると思います。B2B 企業に比べて規模がはるかに大きいため、厳しい分野ですが、もっともっと増えていくと思います。"

また、過大評価されていると思われる分野について、Moshe 氏は次のように述べています。"モビリティ分野の評価は過度に高く、短期的な収益や潜在的な収益に対する合理的な比率がありません。今年、SPAC 上場を行ったモビリティ会社の株式は、すでに大幅に値下がりしています。何百万人もの人々が自律走行車を運転するようになるまでには、まだ長い道のりがあり、それがそれらの企業の価格設定に反映されていると思います。"

今後数年は、IPO や SPAC 上場が同じ割合と規模で続くと思いますか？

"私の考えでは、SPAC は、投資家の信頼を失い、すでに起きているように、SPAC を利用して株式公開する企業に対する批判が高まるため、さらに修正や規制が行われるか、あるいは衰退するでしょう。しかし、市場が高く、関心が低いうちは、IPO の数は増えるでしょう。"

"小口投資家や信用されていない投資家を巻き込んだ新しい形態や手段を開発すべきです。ほとんどの人がテックの経済的な成功に参加していないこと、年金のほとんどが上場企業以外のテックに触れていないこと、小口投資家がスタートアップや VC に投資するための他の選択肢がほとんどないことなどから、この市場には新しい資金の大きな可能性があります"と Moshe 氏は主張した。"さらに、イスラエルの証券取引所は、短期的には IPO 取引を拡大するための新たな手段を加えると思います。そこには、この流れを継続させ、より多くのハイテク企業を誘致しようとする素晴らしいリーダーがいるのです。"

出典：報道 CTECH

["Israeli tech's next phase will be an era of decacorns" - CTech \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com)

雇用 2020年ランキング：イスラエルで働くのに最適なハイテク企業はこれだ

データ分析会社の Dun & Bradstreet・イスラエルは、コロナウイルス (Covid-19) 危機への対処方法とその従業員満足度への影響をもとに、「働きがいのあるハイテク企業 50 社」と「働きがいのある新興企業 20 社」の 2020 年ランキングを発表した。イスラエルで最も働きがいのある会社としての地位を維持しているのは、マイクロソフトの R&D センター。

上位 10 社では、新型コロナウイルスの対応で企業が全体的な戦略をどのように転換したかによって、さまざまな変化が見られた。例えば、イスラエルの「Google」(2) と「Intel」(9) のサイトは 2019 年からランクが上がったが、「Taboola」(6) と「Facebook」(8) は従業員満足度が下がった。オンライン比較サイト「Top10」で知られる_intentマーケティング企業「Natural Intelligence」は、皮肉にも自らの閾値から外れ、現在は 11 位にランクインしている。

“今年で 6 回目となる「働きがいのあるハイテク企業ランキング」は、Covid-19 危機の影の中で行われましたが、我々が調査した最も重要なパラメータの一つは、企業が危機にどのように対処したか、そしてその措置が従業員の満足度にどのような影響を与えたかでした”と、Dun & Bradstreet 社のデータ・分析担当副社長である Efrat Segev 氏は述べている。

Efrat Segev 氏は、“企業は、“スタイリッシュで快適なオフィス”に注力するのではなく、“従業員の家庭環境”に注力し、自宅で仕事をする際の物理的および精神的なニーズに対応することに素早くシフトしました”と述べた。

このニュースが発表された直後、Microsoft Israel R&D の GM である Michal Braverman-Blumenstyk 氏は、“働きがいのあるハイテク企業として選ばれたことを大変光栄に思います”と述べた。“当社の最優先事項は、従業員とその家族の健康と安全に配慮し、最適な在宅勤務を実現するために、物流面でも精神面でも必要なあらゆるサポートを提供することです。”

彼女は続けます。“その結果、世界中の何億人ものユーザーに影響を与える革新的なテクノロジーを開発することができ、また、従業員が身近な社会貢献活動に参加することができるのです。マイクロソフトを最高の会社に行っているのは、社員とマネージャーです。私たちの仕事は、ただ彼らの声に耳を傾けることです。私たちが力を入れている事柄や、推進している社会活動は、従業員から生まれます。彼らの声に耳を傾けることで、私たちは地域社会の向上を目的としたさまざまなプログラムを生み出し、それが私たちの付加価値となっているのです。”

イスラエルで働きたいハイテク企業トップ 10 は以下の通りです。

1 位：マイクロソフト・イスラエル (R&D センター) - 変わらず。ソフトウェア開発会社である同社は、コンピュータソフトウェアの製造、ライセンス供与、販売のほか、家電製品やパソコンなどのハードウェア製品の製造も行っています。

2 位：Google Israel - 3 位から上昇。世界で最も人気のある強力な検索エンジンである Google は、ソーシャルメディアサイトの YouTube やモバイルオペレーティングシステムの Android も所有しています。

3位：IronSource - 8位から上昇。広告テクノロジー企業で、アプリのマネタイズと配信のための技術を開発しています。

4位：Solutio - 変わらず。Solutioは、ユーザーが使用するデバイスやサービスで新しいことを学び、実行することを支援するソフトウェア開発企業です。

5位：Playtika - 変わらず。Playtikaは、ギャンブルゲームやソーシャルゲームを開発・提供するデジタルエンターテインメント企業です。月間3,000万人のユーザーが同社のゲームをプレイしています。

6位：Taboola - 2位からダウン。Taboolaは、オンラインニュース記事の下部にテラーメイドの広告を提供する広告会社です。今年、Outbrainとの合併計画が頓挫し、ランキングに影響を与える可能性があります。

7位：Wix - 9位から上昇。Wixは、ユーザーがコードを学ぶことなく、自分のウェブサイトデザインし、運営することができる。

8位：Facebook Israel - 6位からダウン。Facebookは、月間アクティブユーザー数27億人の世界最大のソーシャルメディアです。Instagram、Whatsapp、Oculusなどを所有・運営しています。

9位：Intel Israel - 11位から上昇。Intelは、コンピューターや携帯電話用のチップや半導体を製造・販売しています。2017年には、イスラエルの企業Mobileyeを153億ドルで買収しましたが、これは同国のこれまでの最大の買収でした。

10位：Salesforce - 変わらず。Salesforceは、クラウドベースのソフトウェア企業で、顧客関係管理サービスのほか、顧客サービスに合わせた一連のエンタープライズアプリケーションを提供しています。

Dun & Bradstreet社は、トップテクノロジー企業のリストだけでなく、イスラエルで働くのに最適なスタートアップ企業のリストも作成した。これらの企業は一般的に、年齢的に規模がはるかに小さく、新たに加わった企業も多く、昨年の企業はランキングが下がる結果となった。

イスラエルで働きたいスタートアップのトップ10は以下のとおり。

1位：BigID - 初登場。BigIDはサイバーソフトウェア企業で、ユーザーが1つのエコシステムでセンシティブなデータを発見・管理できるよう支援しています。また、企業がCCPAやGDPRなどの様々なプライバシー規制に対応できるよう支援しています。

2位：Namogoo - 1位からダウン。Namogooは、オンラインビジネスにおける「カスタマージャーニーハイジャック」の防止を支援する「Software-as-a-Service」を提供しています。Namogooは、ウェブサイトの訪問者を競合製品やサービスに誘導する不正な広告を検知しブロックすることで「カスタマージャーニーハイジャック」を防止します。

3位：Gong.io - 初登場。Gong.ioは、自然言語処理（NLP）とAIを使って、営業チームのやり取りを記録・追跡します。そして、どのようにすればメッセージを最適化し、"より多くの取引を獲得できるか"についての洞察を提供します。

4位：HoneyBook - 3位からランクダウン。HoneyBookは、フリーランサーや中小企業の経営者が、複数のクライアントとの支払い、会議、契約、タスクなどを追跡するためのオールインワンプラットフォームです。

5位：Zebra Medical Vision - 変更なし。Zebraは、人工知能を使ってワークフローを効率化するために必要なツールを放射線科医に提供しています。同社のオールインワンソ

ソリューションを使用することで、放射線科医はそのアルゴリズムを頼りに、より迅速かつ正確に異常を発見することができます。

6位：Forter - 変更なし。Forterは、企業のマーチャントを決済詐欺、アカウントの乗っ取り、ショッピングの不正利用から守る、グローバルなEコマース詐欺防止プラットフォームです。Forterのソリューションは、毎年2,000億ドル以上のトランザクションを保護しています。

7位：Fundbox - 4位からのダウン。Fundboxは、ビッグデータ分析、エンジニアリング、予測モデリングを用いて、未払いの請求書を抱えている中小企業やフリーランサーのキャッシュフローを支援しています。

8位：Next Insurance - 初登場。Next Insuranceは、中小企業やコントラクター向けのオンライン保険プロバイダーで、各顧客が必要な保険に簡単かつ手頃な価格で加入できるようにしています。

9位：Guardicore - 初登場。Guardicoreは、「ソフトウェアのみ」のアプローチを維持しながら、ファイアウォールの代わりとなる製品を迅速かつ低価格で提供しています。セキュリティ、コンプライアンス、クラウド移行のプロセスを単一のプラットフォーム上で効率化します。

10位：Windward - 6位からランクダウン。Windwardは、海事エコシステムの開発に予測知能を採用することで、海事の安全、セキュリティ、コンプライアンス、サプライチェーンを支援しています。

出典：報道 CTECH

[2020 ranking: These are the best tech companies to work for in Israel - CTech \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com)

気候変動 イスラエルの気候テック起業家が次世代ユニコーンを作る

サイバーセキュリティ分野を制覇したイスラエルのハイテク産業は、気候テックの分野でも世界をリードする存在になろうとしているのか？ Israel Innovation Authority (IIA) と PLANETech community が発表した報告書には、イスラエルの気候テック・エコシステムの進展が示されており、投資額の増加という明確な傾向が確認され、2020年に設立されるスタートアップ企業の9%が気候テック分野で活動していることが判明した。

PLANETech 社の CEO である Uriel Klar 氏は、“我々がまとめた報告書は、イスラエルを気候テックのグローバルリーダーとして位置づけ、イスラエル独自の可能性を秘めた分野にスポットライトを当てています。イスラエルの起業家たちは、気候に関するソリューションやテクノロジーを開発し、イスラエルで新世代のユニコーンを作り、人類にとって最大の課題に対処していくことになるでしょう。PLANETech とそのパートナーのビジョンは、イスラエルを気候テックの世界的なセンターに変え、イスラエルと世界の温室効果ガスの排出削減に貢献することです。”

気候テックに対する世界的な関心が急速に高まっている。2021年の最初の6ヶ月間で、気候テックへの投資額は140億ドル以上となり、その額が180億ドル近くに達した2018年の投資記録を更新する勢いだ。

報告書では、イスラエルで気候技術の主要テックで事業を展開している619社を特定し、そのうち366社をスタートアップとしました。報告書によると、そのうち235社がクリーンエネルギーシステムで事業を展開しており、そのうち119社が約20億ドルを調達した新興企業であること、212社が気候スマート農業で事業を展開しており、そのうち130社が9億5000万ドルを調達した新興企業であること、127社が持続可能なモビリティと輸送の分野で事業を展開しており、そのうち75社が18億ドルを調達した新興企業であること、最後に45社が代替タンパク質の分野で事業を展開しており、そのうち42社が3億6400万ドルを調達した新興企業であることがわかりました。

約560の民間団体が現地の気候テック企業に投資しているが、そのうちイスラエルに拠点を置く企業は3分の1に過ぎない。2018年から2020年にかけて、気候テックへの投資総額は29億7,000万ドルに達した。2021年上半期には、投資額はすでに過去3年間の総投資額の40%に達している。IIAは、2018年から2020年にかけて、イスラエルの気候技術企業350社に2億8,000万ドルを投資した。

出典：報道 CTECH

["Israeli climate-tech entrepreneurs will build next generation of unicorns" - CTEch \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com)

対米 シリコンバレーからシリコンワディへ：カリフォルニアとイスラエルの経済関係はかつてないほど強化されている

イスラエルとカリフォルニアの経済的な結びつきの強さは、特にハイテク分野においては周知の事実だ。しかし、この2つの経済がどの程度お互いに利益をもたらしているのかは、内輪で活動をしている人以外にはあまり知られていない。しかし、ベイエリア・カウンシル経済研究所が発表したレポート「シリコンバレーからシリコンワディへ - カリフォルニアとイスラエルの経済的つながり」は、このような状況を打破しようとするものだ。

報告書によると、2003年1月から2021年2月までに、カリフォルニア州に本社を置く57の投資家（うち54はベイエリア出身）が750のイスラエルのスタートアップ企業に投資している。3,000万ドル以上の投資ラウンドでは、カリフォルニアの投資家が全体の58%を占めている。2020年末時点で、478社のイスラエルのスタートアップがカリフォルニアにオフィスを構えており、これは全州で2番目に高い数字だ。また、カリフォルニア州には、イスラエルが設立したテクノロジー・ユニコーンが22社あり、これは米国のどの州よりも多く、1社を除いてすべてがベイエリアに拠点を置いている。

また、カリフォルニア州に拠点を置く企業は、世界におけるイスラエル企業の買収の20%、米国企業による買収の42%を占めている。このパターンの買収額は760億ドルにのぼり、これはイスラエルでの買収額の50%、米国全体の70%にあたる。これまでに行われたイスラエルの5大買収のうち3件、上位15件のうち7件は、インテルによるMobileyeやGoogleによるWazeなどの買収を含む、カリフォルニア州の企業によるもので、ベイエリアの企業が買収の上位を占めている。2019年だけで行われた10億ドルを超える3件の買収のうち、すべてがカリフォルニア州の企業によるものだった。

カリフォルニア州の企業は、イスラエルで合計147件の外国直接投資（FDI）プロジェクトを行った。そのうち127件は、主に研究開発を目的とした広域ベイエリアの企業による投資だった。分野別では、「ソフトウェア・ITサービス」が最も多く、次いで「半導体」、「金融サービス」、「通信」となっている。FDI Marketsによると、2003年から2021年の間にカリフォルニア州の企業103社が行った投資額は、合計224億ドルに上る。イスラエルに投資しているカリフォルニア企業上位20社のうち、18社がベイエリアに本社を置いている。多くの企業にとって、イスラエルでのプレゼンスは、イスラエル企業の買収から始まった。イスラエルに進出しているシリコンバレー企業は数多くあるが、中でもApplied Materials社、KLA Corporation社、IBM社（サンノゼに主要な研究所がある）、Oracle社、Cisco社、Salesforce社、Intel社などは、多国籍企業のグローバルな研究開発やビジネス戦略においてイスラエルが果たす役割を示す例として注目されている。イスラエルにイノベーション拠点を持つ多国籍企業402社のうち、カリフォルニア州に本社を置く企業は96社で、うち80社がベイエリアに拠点を置いている。これに対して、イギリスは13社、フランスは14社、ドイツは15社、中国は10社、日本は7社、インドは6社であり、多国籍企業の中でイノベーションを起こしている企業は少ない。

報告書では、今後の協力が期待される分野として、バイオ技術、データサイエンス、セキュリティ、特にポスト・クワンタム暗号などの高度な暗号システムが挙げられている。

ベイエリア・カウンシル経済研究所は、1990年以来、サンフランシスコ・ベイエリア／シリコンバレーの経済に焦点を当てた主要なシンクタンクとして活動している。今回のレポートは、ベイエリア・カウンシル経済研究所のシニア・ディレクターであるショーン・ランドルフが、マーナ・スロウジの協力を得て作成した。

"私にとってこのレポートの意義は、カリフォルニアとイスラエルの物語と、互いの価値が初めて語られたことにあります。"2017年8月から太平洋岸北西部に駐在するイスラエル総領事のシュロミ・コフマンは、CTechにこう語りました。"それは、カリフォルニアの企業に対するイスラエルの顕著な価値、イスラエルと、カリフォルニアの科学者、創業者、企業との共同作業を示しています。それは、私たちの革新と向上への果てしない欲求を反映しています。イノベーションをリードする2つのハブの間のユニークな結びつきの物語は、前例がなく、類似性もありません。これは世界的な意味を持ち、世界のイノベーションをリードするものです"と述べている。

コフマンは、今回の報告書の最大のハイライトは、あらゆるレベルの膨大な数のつながりとプロジェクトであると述べている。"3つの二国間基金を通じて、何百もの共同プロジェクトや研究が行われています。BIRD (The Israel-US Binational Industrial Research and Development Foundation)、BARD (The US-Israel Binational Agricultural Research and Development Fund)、BSF (The US-Israel Binational Science Foundation)、カリフォルニアにある数百のイスラエル企業、イスラエル企業への数十億の投資、VCなど"を指摘しました。

シードファンド UpWest 社の創業パートナーである Shuly Galili は、過去 20 年間、イスラエルとカリフォルニアの間で、あらゆる技術やイノベーションの接合部に携わってきました。最初の 10 年間は、カリフォルニア・イスラエル商工会議所 (CICC) のエグゼクティブ・ディレクターを務め、後半の 10 年間は、カリフォルニアとイスラエルの両方にオフィスと従業員を持つ企業の最大のポートフォリオを持つ、国境を越えたベンチャー企業である UpWest 社に勤務していました。

Galili 氏は、"私個人にとってのこのレポートの意義は、多くの素晴らしい人々による長年の努力が、次世代のためにここに展示されていることです。私が 2000 年に CICC を設立したとき、すでにビッグテック/米国企業がイスラエルに大きな影響を与えていることを目の当たりにしていました (現地に研究開発施設を建設するなど)。しかし、今回の報告書で私にとって非常に意味があるのは、状況が変化し、今やイスラエルのスタートアップ企業が経済のさまざまな分野でカリフォルニアに大きな影響を与えていることを目の当たりにしたことです"と述べている。

Galili 氏は、この報告書が、カリフォルニア州側でのイスラエルに対する好意的な政策につながることを期待している。"イスラエルの地位やイメージを向上させるためには、まだまだやるべきことがたくさんあります。特に、BDS が大きくクローズアップされ、政策立案者に影響を与えている今の時代にはなおさらです"と彼女は説明する。"気候変動は、世界にとって最大の課題のひとつであり、イスラエルとカリフォルニアが協力して影響を与えることができる分野です。山火事の増加、干ばつ、海面の上昇、差し迫った食糧不足など、気候変動を目の当たりにしています。また、投資家としては、イスラエルの新興企業がインパクトを与えるのを見たいと思っています。両国とも、この重要な課題に協力するだけのモチベーションを持っています。"

Kofman 氏も同様の感想を述べている。「この報告書が、気候変動、水不足、食料安全保障、サイバーなど、お互いに関心のある分野での協力関係の拡大と深化につながることを願っています。私たちにはお互いに学ぶべきことがたくさんあり、私たちの物語は、私たちが世界をより良く、より安全な場所にできることを示しています」。

出典：報道 CTECH

[Silicon Valley to Silicon Wadi: California-Israel economic ties are stronger than ever - CTECH \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com/silicon-valley-to-silicon-wadi-california-israel-economic-ties-are-stronger-than-ever)

対 UAE・インド、UAE、イスラエルが貿易拡大のために協力

イスラエル、UAE、インドの3カ国は、3カ国間の貿易量を拡大するために協力することになった。これは、ドバイで開催された3国の代表者によるイベントで発表された。3カ国は、ビジネス協力、相互投資、ビジネス活動の規模拡大を促進するという共通の目標のもと、3カ国間の関係を強化することが期待されている。

現在、両国間の貿易額は約640億ドルで、インドとUAEの間だけでも約590億ドルとなっている。ゆえに、3国間の協力関係を強化することで、イスラエルの対両国貿易を拡大することが目的だ。これは、電子機器、サイバーセキュリティ、化学品、肥料、医療機器、医薬品など、イスラエルが得意とする分野で特に顕著だ。

イスラエル輸出機構のAdiv Baruch会長は、「ドバイは、インドをはじめとする東洋の国々を結ぶ架け橋となっている。アブラハム合意のおかげで、イスラエルの産業界に新たなビジネスチャンスが広がり、インドのような国の存在感が大きい湾岸諸国内でのビジネスが可能になった。」

フォーラムに参加したイスラエル製造者協会のRon Tomer会長は、「インドとはすでに長年にわたって緊密で暖かい関係を築いており、インドの首相もこれまでに何度もイスラエルを訪問しています。UAEとは少し事情が異なり、1年以上前まではイスラエルとUAEの間には何のつながりもなく、商業的な関係も隠れていました。そのため、この1年間は両国の社会的、外交的、経済的な関係を強化することに努め、すでにイスラエルとUAEの間の貿易量は大幅に増加しています」と述べている。

ハポアリム銀行のチーフ・エコノミック・アドバイザーであるLeo Leiderman教授によると、インド・UAE・イスラエルのトライアングルは、イスラエルのセクターにチャンスをもたらすという点で重要だという。"この市場は、イスラエルの起業家や投資家にとって大きな可能性を秘めた大きな市場です。しかし、モノやサービスの貿易だけでなく、欧米諸国の超低金利に悩まされているイスラエルの機関投資家にとって、インドへの投資は潜在的に非常に興味深いものであり、中長期的にインドで行われている開発や改革に投資することは魅力的であると考えていることを強調しておきます。"

出典：報道 CTECH

[India, UAE, and Israel announce cooperation to grow trade - CTech \(calcalistech.com\)](https://calcalistech.com)

半導体 ルネサスエレクトロニクスがイスラエルの半導体会社 Celeno Communications を 3 億 1500 万ドルで買収

本件買収の目的

Celeno 社は、イスラエルに本社機能を置くアナログ半導体企業で、ホームネットワーク、スマートビルディング、通信、産業分野向けに、先端 Wi-Fi チップセット/ソフトウェアなど幅広い無線通信技術を提供しています。特に、Wi-Fi 6/6E 向けのチップセットは業界最小を誇り、セキュリティを担保しながら、高速の Wi-Fi 通信を低遅延かつ低電力で可能としています。また、Celeno 社の Wi-Fi Doppler Imaging technology は、Wi-Fi に高解像度画像技術を組み合わせた、家庭での高齢者の見守りやホームセキュリティ、自動車の安全運転、ネットワーク化した工場の稼働などに最適な革新的な技術です。Wi-Fi 通信下で、複数のカメラやセンサを家庭内や商業ビル内に配備することなく、人物や物体の動きや位置などを捉えて追跡・分析を行うことができます。一方、当社は世界トップの組み込みプロセッサプロバイダーとして、低電力の MCU/MPU/SoC や無線 IC、センサ、パワーマネジメント技術など幅広い製品ラインアップを有しています。同ラインアップに対し、Celeno 社の実績ある Wi-Fi チップセット/ソフトウェア技術は補完性が高く、網羅的なエンドツーエンドのソリューションを構築します。これにより、当社は、IoT、インフラ、産業、自動車分野のアプリケーション向けとして需要が高まる低電力のコネクティビティ技術を提供してまいります。

本件買収により、ソリューション提供力の拡充に加え、Celeno 社のイスラエルの設計拠点が加わり、イスラエル、ウクライナ、インド、中国、台湾などを拠点とする R&D 人材も当社に迎え入れることができ、当社の設計開発/エンジニアリング力を強化できます。グローバルの R&D 人材増強により、世界中のお客様に対し、より充実したサービスをシームレスに提供可能となります。

出典：ルネサスエレクトロニクス プレスリリース

[Celeno 社の株式取得（子会社化）について | Renesas](#)

[Celeno 社を買収し、コネクティビティのポートフォリオを拡充 | Renesas](#)

半導体 丸紅ベンチャーズ、データ処理の高速化システムを開発する NeuroBlade に出資

丸紅ベンチャーズ株式会社（以下、「丸紅ベンチャーズ」）は、データセンター向けに次世代のデータ処理システムを開発するイスラエルの NeuroBlade（本社：テルアビブ、CoFounder & CEO：Elad Sity）に、Intel Capital や MediaTek などと共に投資しました。「丸紅ベンチャーズが投資家として加わったことで、日本市場の開拓を進められることを心強く思っています」（Co-Founder&CEO の Elad Sity 氏）

NeuroBlade が開発するデータ処理システムは、専用の演算回路を集積したメモリ「XRAM」を利用することで、データ転送のボトルネックを解消することを特徴としています。こうした仕組みは PIM(processing-in-memory)と呼ばれ、研究分野では長年提唱されてきました。NeuroBlade はこの仕組みを実現する XRAM の商用化に成功し、検索クエリなどを扱うデータ処理分野に向けて、XRAM を搭載した専用アプライアンスとその上で動作するソフトウェアを組み合わせたシステムとして提供を開始します。このシステムはデータセンターなどに設置したサーバーにおいて CPU と連携し、データ処理のアクセラレーターとして機能します。

NeuroBlade は、世界中の最先端の顧客やパートナーに対してシステムの提供をすでに開始しています。これらのシステムは世界最大規模のデータセンターで稼働する予定です。「コンピュータ・アーキテクチャの新しい構成要素となる我々のシステムを導入することで、企業は社会が直面する重要な問題に迅速に答え、ビジネスチャンスを大幅に改善することが可能になると期待しています。既存のシステムに比べて 100 倍以上もデータの処理と分析を高速化できるためです」（Co-Founder&CEO の Elad Sity 氏）

データ処理を行う既存のシステムでは、外部記憶装置、メモリ、CPU の間でデータを高頻度に転送する必要があり、これが検索クエリなどのアプリケーションの実行時に、性能低下やレスポンスタイムの増大の主な原因になっています。NeuroBlade は、こうした現在のアーキテクチャでは爆発的に増大するデータ分析のニーズに対応できないことを認識し、データ転送の必要性を排除することでデータ分析の性能を大幅に高速化する今回のシステムを開発しました。

丸紅ベンチャーズは、今回の投資を通じて、NeuroBlade 社の事業拡大を支援していきます。

出典：丸紅ベンチャーズ プレスリリース

[Microsoft Word - NeuroBlade Press Release \(Marubeni Ventures\)_jp.docx \(marubeni-ventures.com\)](#)

イノベーション ソフトバンクがイスラエルの投資会社 OurCrowd の株式 2,500 万ドルを取得

イスラエルのクラウドファンディング企業である OurCrowd は、世界最大級のベンチャーキャピタル投資家である日本の投資大手ソフトバンクが、OurCrowd プラットフォームの拡大と投資家基盤の構築に向けて、同社に 2,500 万ドルを出資することを発表した。

また、ソフトバンクと OurCrowd は、同社の 100%子会社であるソフトバンク・インベストメント・アドバイザーズ (SBIA - SoftBank Vision Fund 2 のサブアドバイザー) を通じて投資機会を調達し、AI、量子コンピューティング、モビリティ、農業技術、サイバーセキュリティ、健康技術など、さまざまな分野の市場動向を評価するための戦略的協力契約を締結した。

また、今回の提携により、OurCrowd と SBIA は、それぞれのエコシステムにおける地理的拡大をサポートすることになるとのこと。

ソフトバンクのイスラエル事業は、5 年以上モサドのトップ務め、6 月に退任した Yossi Cohen 氏が率いている。

OurCrowd の創業者兼 CEO である Jon Medved は、The Times of Israel の E メールインタビューに答えて、“我々はソフトバンクと以前から知り合いで、同じポートフォリオ企業に投資を行ってきた”と語っている。“今回の発表は、より全面的かつ効果的に協力していきたいという相互の願望から生まれたもので、この投資には財務的・戦略的な要素が含まれています”と述べている。

この取引により、全世界で 3,400 億ドル以上の運用資産 (AUM) を有するソフトバンクは、OurCrowd の少数株主となり、両者は戦略的に協力しながら定期的に交流を図ることになると、メドベドは述べている。

ソフトバンクは、Uber、DoorDash、Cruise、Slack、ByteDance (TikTok の前身)、そして有名なところでは、イスラエルの共同設立企業である WeWork など、世界の大企業に投資している。また、ビジュアル AI 企業の AnyVision、サイバーセキュリティ企業の Cybereason、ソーシャルトレーディングプラットフォーム企業の eToro など、イスラエル企業への投資も数多く行っている。

“ソフトバンクは、他に類を見ないポートフォリオと驚異的な実績、そして素晴らしいチームを持っています”と、Medved 氏は、発表後のプレスブリーフィングで述べた。“我々は共に、共同投資の機会を模索し、取引を調達し、市場動向や AI、量子コンピューティングなどのハイテクのフロンティア分野を評価し、地理的拡大に向けてお互いに協力していきます。”

今月、OurCrowd は、調査会社 Pitchbook により、イスラエルで最も活発なベンチャーキャピタル投資家選ばれた。これまでのところ、地元の技術エコシステムにとって記録的な資金調達の年となっている。2021 年の最初の 3 四半期で、イスラエル企業は 177.8 億ドルを調達し、それ自体が記録的な年であった 2020 年全体での調達額の約 2 倍となった。

OurCrowd は、この 1 年間で記録的な成長を遂げ、新規登録者数は 2020 年の 25,000 人から 2021 年にはこれまでに 75,000 人となり、300%の成長を達成したと述べている。また、今年のプラットフォーム上での新規投資額は 5 億ドルを超え、年間の追加 AUM は 100%増加すること。OurCrowd はこれまでに、イスラエルの保険テック企業 Lemonade、植物性タンパク質企業 Beyond Meat、Uber など、エグジットを達成した 50 社以上に投資してきた。

Medved 氏は、同社が将来的に“メンバー/ユーザーベースを 14 万人から数百万人へとさらに拡大し、運用資産を増やし、主要企業におけるグローバルなフットプリントを拡大し、ベンチャーキャピタル内とそれ以外の両方で新しい投資商品を提供する能力を高めたい”と述べている。

また、デジタルプラットフォームをさらに発展させ、"AIの要素を加え、実現されたネットワーク効果によって、当社の企業や投資コミュニティにさらなる価値を生み出していきたい"と述べた。

Medved氏は、現時点でOurCrowdは「世界中でディールを狩っている」が、活動の約50%はイスラエルで行われていると述べた。“このようなベンチャー市場のリーダーと投資家およびパートナーとして提携することは、OurCrowdとその投資先企業に大きな影響を与えるでしょう”と述べている。

"ソフトバンクは40年以上にわたり、主要な技術トレンドを先取りした投資を行っており、プライベートマーケットのエコシステムには、巨大で埋もれた可能性があると感じている。”とCohen氏は声明で述べている。“OurCrowdには、イスラエルの有望なスタートアップが国際的な技術チャンピオンになる可能性を支援するネットワークと血統を持つ投資パートナーがいます”と述べている。

出典：THE TIMES OF ISRAEL

[Japan's Softbank buys \\$25m stake in Israeli investment firm OurCrowd | The Times of Israel](#)

イノベーション 富士通、インドとイスラエルに研究拠点 AI 人材など獲得

富士通はインドとイスラエルに拠点を新設し、海外の研究体制を強化する。12日に始まったオンラインの自社イベントで、ヴィヴェック・マハジャン執行役員専務 CTO（最高技術責任者）が発表した。人工知能（AI）や量子技術、セキュリティーの分野で優秀な人材を集める狙い。

イスラエルは 21 年夏に拠点を設け、インドは今後立ち上げる。現地の大学と協力して研究を進め、イスラエルは 10～20 人、インドは 50～60 人体制とする計画。富士通は米国、中国、英国にも海外研究開発拠点を持っている。

新拠点を設ける狙いについて、マハジャン氏は「デジタル化が加速する中でソフトウェア分野の重要性が増している。どこに優秀なエンジニアがいるかと考えてインド、イスラエルを選んだ」と話した。マハジャン氏自身、インド出身で米国の大学院を卒業し、海外人材として初めて富士通の CTO に就任した。世界の優れた人材の力を取り込み、技術力を向上する。

イベントでは時田隆仁社長が基調講演に登壇した。「テクノロジーは使われてこそ価値を生む」と述べ、持続可能な社会の実現に向けて富士通が持つ AI や 5G、スーパーコンピューターなどの技術を活用していく方針を語った。

出典：日本経済新聞

[富士通、インドとイスラエルに研究拠点 AI 人材など獲得：日本経済新聞 \(nikkei.com\)](https://www.nikkei.com)

【トピカル】 富士通とイスラエルのスタートアップ Autofleet が資本業務提携、社会課題解決に向けたサステナブルな物流ソリューションの開発を加速

富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：時田 隆仁、以下 富士通）と、AIによる予測・最適化技術を用いた物流車両などの高精度な配車マッチングプラットフォームを有する Autofleet, Ltd.（本社：イスラエル、CEO：Kobi Eisenberg、以下 Autofleet 社）は、物流産業の労働力不足や環境問題などの社会課題解決に向けたサステナブルな物流ソリューションの開発を目的とした、グローバルな戦略的提携を行うことで合意しました。また、富士通は、本提携を加速するため、子会社の富士通ベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢島 英明）が運用するファンドを通じて、Autofleet 社へ出資を行いました。

物流は人々の生活に豊かにし、経済発展を支える社会インフラであり、様々な要素によって複雑なエコシステムが構成されています。現在、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴う生活様式の変化がモノの移動を活発化させ、これまで以上に物流の重要性が高まっています。一方で、物流需要の増加により労働力の不足やCO2の排出量増加による環境問題など、物流システムの様々な領域において新たな社会課題が発生しており、効率的かつ環境に配慮した新しい物流の仕組みが必要とされています。

今後、富士通と Autofleet 社は本提携に基づき、Autofleet 社の動的な配車マッチングプラットフォームと、富士通のシステム開発のノウハウや物流業務の知見を融合することで、こうした社会課題の解決に向けたサステナブルな物流ソリューションを開発し、グローバルに展開します。具体的なユースケースとしては、物流需要の変動が大きい宅配を始めとしたラストワンマイル輸送における動的な配車、緊急時の輸送に対応する求貨求車（貨物を確保したいトラック事業者と、荷物を確保したい荷主のニーズをマッチングさせること）のマッチング、公共交通などと連携した貨客混載（貨物と旅客の輸送、運行を一緒に行う形態のこと）、脱炭素化に向けて物流産業でも導入が進む電気自動車の充電ポイントを考慮したルート最適化などを想定しています。このような物流産業の社会課題解決に向けたソリューションの提供を通じて、より豊かで暮らしやすい社会の実現を目指します。

なお、本件は、富士通最大のグローバルイベント「Fujitsu ActivateNow 2021」会期2 (<https://event.jp.fujitsu.com/activatenow/>) において、10月29日（金）に予定している「Trusted Society Day」の「サステナブルでレジリエントな物流によって加速する Green DX」（11月30日までオンデマンド配信予定）の講演を通じてご紹介します。

出典：富士通株式会社 プレスリリース

[富士通とイスラエルのスタートアップ Autofleet が資本業務提携、社会課題解決に向けたサステナブルな物流ソリューションの開発を加速：富士通 \(fujitsu.com\)](https://www.fujitsu.com/japan/newsroom/2021/10/29/autofleet)

小売 2022年に1号店を開店予定 セブン-イレブンのイスラエル進出が決定

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）の子会社である7-Eleven, Inc.（本社：米国テキサス州アーヴィング、President and CEO: Joe DePinto）は、イスラエルのElectra Consumer Products Ltd.とマスターフランチャイズ契約を締結し、2022年にイスラエルにおけるセブン-イレブン1号店を開店することとなりましたのでお知らせいたします。

セブン-イレブンは、現在18の国・地域で店舗展開しており、2021年8月末時点での世界のセブン-イレブン店舗数は77,408店舗です。

Electra Consumer Products Ltd.は、イスラエルを代表する企業で多面的な事業ポートフォリオを持つ、Elco Ltd.の子会社であります。

セブン-イレブンのイスラエル進出は、現地で人気のある商品、飲料、スナック、現地の人々の嗜好に合わせて開発されたフレッシュフードなどを通じて、イスラエルの消費者に更なるコンビニエンス（利便性）を提供します。今後、セブン-イレブン・ジャパンと7-Eleven, Inc.は、セブン-イレブン独自のビジネスモデルの導入や、現地に密着したコンビニエンスストアの実現に向けてサポートしてまいります。

Electra Consumer Products Ltd. CEOのZvika Schwimmer氏のコメント

「新たな小売り分野に参入し、イスラエルのお客様に最高の買物体験を提供するために、多くの経験と国際的な評判を持つ企業と連携したいと考えていました。セブン-イレブンは世界中でコンビニエンスストアを展開し、業界における紛れもないリーダーです。イスラエルにセブン-イレブンを導入するにあたり、お客様に最高の買物体験と商品を提供することを約束します。」

7-Eleven, Inc. President and CEOのJoe DePintoのコメント

「若い世代の人口増と継続的な経済成長により、イスラエルはセブン-イレブンに適した環境にある国だと言えます。Electra Consumer Products Ltd.との戦略的提携により、セブン-イレブンの利便性と象徴的な商品を、何百万人ものイスラエルのお客様にお届けします。」

【世界におけるセブン-イレブン展開エリア】

アメリカ・カナダ・メキシコ・日本・韓国・台湾・中国（香港を含む）・タイ・フィリピン・シンガポール・マレーシア・ベトナム・カンボジア・インド・オーストラリア・ノルウェー・スウェーデン・デンマーク

出典：株式会社セブン-イレブン・ジャパン プレスリリース

[2022年に1号店を開店予定 セブン-イレブンのイスラエル進出が決定 | 企業 | セブン&アイ・ホールディングス \(7andi.com\)](#)

大学 イスラエルのライヒマン大学（旧 IDC ヘルツェリア）が日本の 中堅・中小企業向けにエコシステム参画に向けたイニシアティブ開始

IDC BEST（IDC ビジネス・起業家精神・戦略・技術イニシアチブ）

IDC BEST は、国内外の企業にメンバーを募り、新しい技術を探求し、競争上の優位性を生み出し、維持するための新しい革新的なビジネスモデルを実験することを目的としたイニシアティブ。参加に関心のある方は以下の宛先まで。

連絡先：Dr. Amir Guttman, aguttman@idc.ac.il, +972-54-5607760

●フォーカス

IDCBEST は、技術革新のビジネス的側面に焦点を当てています。革新的なビジネスモデル、チェンジマネジメント、市場戦略、ビジネスパートナーシップ、知財戦略、財務戦略など、新しい技術を展開することで生じる活動です。

●コミュニティ

IDCBEST は、ビジネスやテクノロジーに大きな混乱をもたらしているいくつかの垂直領域において、思考のリーダーシップを支援するための多次元的で多様なコミュニティとして機能しています。

●ストラテジー

IDCBEST は、企業家や投資家、IDC の教員や学生が集まり、破壊されつつある領域での戦略を再考したい企業や、現在の事業領域に関連する新しい技術革新を模索し、ソリューションを提供する活動を開始します。

●サービス

IDCBEST は、新技術や IP のスカウティングサービスから、代替ビジネスモデルや市場戦略まで、様々なサービスを提供することで、会員企業の新技術による課題への対応を支援しています。

コミュニティを開始するために、IDCBEST の初期メンバーの特定のニーズに合わせたいくつかのプロジェクトから始める予定。

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント等の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2021 (2021年11月8～9日,テルアビブ)

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

食品 ISRAFOOD (2021年11月16～18日,テルアビブ)

イスラエルの食品・飲料に関する展示会。メーカーや輸入業者、小売事業者等を対象とする。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

ホテル HOTEX-KITEX (2021年11月16～18日,テルアビブ)

ホテルやレストラン産業の器具・サービス・技術に関する展示会。今回37回目。

<https://www.stier.co.il/hotex/en/>

サイバーセキュリティ **CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022** (2022年1月25～27日, テルアビブ)

サイバーセキュリティに関するイスラエルにおける最大のイベント。

<https://www.cybertechnisrael.com/>

観光 **IMTM2022 - 28TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET** (2022年2月8～9日, テルアビブ)

イスラエル最大の観光博。2021年は中止されたが、2020年は世界57か国が展示を行い、約27,000人が参加。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

化学 **ISRACHEM** (2022年3月8～9日, テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回17回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchim/en/>

スタートアップ **2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT**
(2022年3月9日, エルサレム/オンライン)

エルサレムのクラウドファンディング型VCであるOurCrowdによる年次イベント。OurCrowdの投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020年は186か国から23,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

防衛 **ISDEF2021** (2022年3月21～23日, テルアビブ)

防衛・警察・サイバー関係の製品を扱う最大級のイベント。今回で11回目。

<https://www.tlv2021.isdefexpo.com/>

実験器具 ANALIZA（2022年5月16～17日，テルアビブ）

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

投資 TEL AVIV ANNUAL INSTITUTIONAL INVESTMENT CONFERENCE（2022年6月，テルアビブ）

数百の機関投資家が集まる国際会議。

<https://tlvii.com/>

デジタルヘルス DIGITAL HEALTH.IL（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シェバメディカルセンターイノベーションセンター），Israel Advanced Technology Industries が主催。過去5年では，毎回700名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021(時期未定,オンライン)

モバイルアプリ，ゲーム，アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他，スタートアップコンテストも開催され，希望者には1対1ミーティングもセッティング。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

イノベーション LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年,テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね1週間のプログラムで，個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

イノベーション **KGAP+スタートアップピッチ**（2021年11月12日、オンライン）

この度、国際電気通信基礎技術研究所（ATR）・けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会主催にて、グローバル連携をベースに日本と世界のスタートアップの成長を支援するKGAP+(Keihanna Global Acceleration Program Plus)の成果報告会を11月12日に開催！日本企業等とのPoC・協業を目指した8カ国15社が取り組み発表します。

本イベントでは以下のイスラエル企業3社が登壇致します。

- ・ Seevix Material Sciences Ltd.
- ・ Beaconcure
- ・ Kitchen Robotics

[イスラエルイノベーションセミナー – 駐日イスラエル大使館 経済部 \(israel-keizai.org\)](http://israel-keizai.org)

建設・不動産 **JIIN イスラエル 建設・不動産技術バーチャルイベント 2021**（2021年11月24日、オンライン）

スタートアップ国家として知られるイスラエルは今、建設・不動産業界の革新を目指すスタートアップ・技術のハブとなりつつあります。過去5年間にそのスタートアップの数は8倍、投資金額は30倍に急増しました。

この度のイベントでは、建設・不動産業界において業務効率化・労働環境改善等の課題が山積する日本の企業・団体の方々に向けてイスラエルの技術をオンライン形式でご紹介致します。業界ご関係者様、また、当該分野にご関心をお持ちの多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

[JIIN イスラエル 建設・不動産技術バーチャルイベント 2021 – 駐日イスラエル大使館 経済部 \(israel-keizai.org\)](http://israel-keizai.org)

ライブサイン 第4回 KBIC グローバルウェビナー（2021年12月8日、オンライン）

～ 『中東のシリコンバレー』、スタートアップ大国・イスラエルとのコラボを通して競争力を高める ～

何故イスラエルでは有望なスタートアップが次々と輩出されるのだろうか。世界有数のスタートアップ大国であるイスラエルとのコラボレーション成功事例から、アントレプレナーシップ醸成やイノベーション創出の秘密を学ぶ。

[【オンライン開催】第4回 KBIC グローバルウェビナー – 駐日イスラエル大使館 經濟部 \(israel-keizai.org\)](https://israel-keizai.org)